

津山老人福祉センター 12月3日(月)

意見交換会での質問と回答

区分	質 問	回 答
議員定数・議員報酬	定数はそのまま、報酬の削減という議論はされたのか。されていなければすべきと思う。	平成21年度に報酬、費用弁償、政務調査費を削減しています。意見としてお受けします。
議員報酬・費用弁償	議員の報酬の削減は年間1人当たりいくらになるのか、更に議会に出るときに費用をもらうときがそれはいくらか知りたい。	議員1人当たりの年間の報酬等は23年度で約660万円です。 会議などに出席した時の費用弁償は、以前は1日2千円でしたが現在は千円となっています。(1日に2つ以上の会議に出席しても千円。)
放射能汚染	放射能の問題は今後ともつづく、自分たちが普段作る作物のセシウムの数値を測定するために、各町域にせめて1台ずつ設置されるよう望む。	放射性物質の簡易検査機械は、市役所で3台用意しており、そのうち中田長の愛菜館にある1台で、市民から持ち込まれた食品の測定をしています。当測定システムは、1日30件から40件程度測定できる能力があります。 検査は、事前に申し込みを頂き、お待たせしないように調整していますが、今後の利用状況を見ながら判断していくことになります。

意見交換会でのご意見・提言・要望

区 分	ご意見・提言・要望
議員定数	津山町でも公民館の指定管理に移行していくよう何とか受けられるよう住民は頑張っているが、現在、物事が総合支所や、住民が知らないうちに、トップダウンで進んでいる。総合支所が今後、市長の区長会で言うように、窓口業務に特化され、更にトップダウンが進んだ場合、市民はそれでもついていくのだろうか。議会には定数の削減ではなく、それらの検証や地域と行政の橋渡し役として、今後更にしっかり働いてもらうよう求めたい。更に議員、議会が、がんばっている姿を見せることこそ必要である。
議員定数・議員報酬	高級官僚や国会議員へのバッシングと同じく、地方議員や職員も非難されるのはかわいそうな気がする。議員を減らせ、報酬を減らせだけの議論をすべきではない。市民の声を届けるためには安易に定数を減らすべきではない。報酬についても、議員の専門職化と勘案しながら、生活給という側面も考慮して検討してもらいたい。 現在津山町からは議員が1人しか出ていない。各町域からの声を届けるためにも、定数の削減は反対である。歳費を削減したければ、報酬削減を検討するほうで願いたい。(他の参加者からも同様の意見複数あり。)
河川改修	津山町の内水対策の一環として、新北上川の飯野川上流、合戦ヶ谷地区の川幅を広めることを国に要望してほしい。